

○ 第二部 講演『今後の医療制度について』

・障害者対策、名古屋市で出来る問題

丹羽ひろし市議員(自由民主党)

市の財政福祉委員会に属し、先の委員会で、公共の車いすマークの駐車場にハート・プラスマークの表示、掲示を審議していただき、思いやりの心の輪を拡げる運動の必要性などについてお話しされた。



・後期高齢者医療についての名古屋市の対応

山口清明市議員(日本共産党)

4月から後期高齢者医療制度が始まりました。この制度は、本来高齢者の健康を守るために出発したものなのに、医療抑制が目的になっている。65歳から74歳の障害者は、この制度に入らないと障害者医療費助成を受けられない等問題が多いため、他の政党と力をあわせて、撤回に向けて闘っていくことなどをお話しされた。

・災害対策に備えて透析施設に対する行政対応

福田せいじ市議員(公明党)

透析施設の上下水道の耐震に対する現状のデータと今後の取組について、また、災害時には、透析患者自身が自分から病院へ行き、他の人の手を煩わせないことも必要なことなどをお話しされた。



・健康都市宣言ナゴヤの今後の医療について

うえぞのふさえ市議員(民主党)

名古屋市は、昨年11月に政令指定都市ではじめて健康都市宣言をしました。これは、市民のだれもが、いつまでも元気で笑顔にあふれ、きれいな空気や水と緑に囲まれた、健康で安心して生活できる街を目指していること、また、予防医学としてナゴヤ健康体操の推進をしていることなどをお話しされた。

○ 新役員紹介



会 長
加藤 久夫



副会長
寺尾 文範



副会長
吉田 一夫



事務局長
高橋 元治



女性部部长
水上 久枝